

中学校理科 調査結果の見方

今年度、中学校理科において1人1台端末を使用して、全国学力・学習状況調査が実施されました。他の教科と調査結果の示し方が違うので説明します。この調査結果を見ながら、さらに力をつけていくための手がかりを見つけていきましょう。



令和7年度全国学力・学習状況調査【中学校】調査結果

学校名	答案番号	調査実施日	組	氏名



問題番号 ※1	問題の内容	結果 ※2	全国の正答率	学習 学年 ※3	学習指導要領の領域※4				評価の観点		問題形式			問題の 難易度 ※5
					1	2	3	4	知識技能	思考・判断・表現	選択	短答	記述	
	日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する	○	80.0	1	○				○		○			1
	タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組合せを選択する	—	70.0	2	○					○	○			2
	気圧、気湿、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する	○	60.0	1				○		○	○			3
	上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する	—	50.0	2				○		○	○			4
	分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す	—	40.0	1		○			○		○			5
	水素を燃料として使うしくみの例の水の質量の変化について、適切なものを選択する	—	80.0	2		○				○	○			1
	ダイオウグソクムシとダンゴムシのあしの様子が異なることについて、生活場所や餌を付け、その理由を説明する		70.0	1			○			○			○	2
	骨格動物には骨格のつくりに共通点があることから、カラスの関節Aに対応するヒトの関節を選択する		60.0	2			○			○	○			3

これまでの全国学力・学習状況調査は紙で実施しており、全国の中学生全員が同じ問題に取り組んでいました。しかし、今回1人1台端末を使用することで、人によってそれぞれ違う問題を解けるようになりました。全国のみなさんが共通して取り組んだ問題もあれば、調査を受ける日ごとに違う問題も出題されています。



調査結果 Q & A



「IRT」って何ですか？

「IRT」とは「項目反応理論」といって、一人一人の問題の正誤状況を活用し、調査に取り組んだ人の学力を測定する方法です。今回の調査では、IRTに基づいて、全国みなさんがたくさん問題に取り組んだ結果をもとに、より幅広い分野や内容からみなさんの理科の力を測ることができています。



①

「IRT バンド」って何ですか？

「IRT バンド」とは、今回の調査におけるあなたの結果を5段階で示したもので、5が最も高いです。例えば、IRT バンド「3」の人は、「問題の難易度」が「3」の問題を、おおよそ（約80%の確率で）正答することができる力があると推定できます。



②

どんな問題だったかももう一度見ることはできますか。

調査結果に載っている問題は国立教育政策研究所のホームページに掲載されています。また、全て MEXCBT で取り組むことができます。自分のできた問題や間違えてしまった問題を振り返るために活用してみてください。（※配信の設定は学校が行います。）



https://www.nier.go.jp/25chousa/pdf/25mondai_chuu_rika.pdf



③

「結果」に何も書いてない欄がありますがなぜですか？

当日受けた問題は人によって違います。あなたが当日取り組んでいない問題は空欄になっています。



④

「問題の難易度」はどのように決められているのですか？

問題の難易度は、みなさんの問題の正誤状況を踏まえて、「IRT バンド」をわかりやすくするためにつけられた数字です。どの問題もこれまで授業で学んだことを生かして取り組むことができます。「IRT バンド」が「3」の人でも難易度が「4」や「5」の問題に正答できる場合もありますし、難易度が「2」の問題でも間違えてしまうこともあります。今の自分の力を把握したり、さらに力をつけたりするために、この結果や調査問題を活用してください。